

令和7年度第2回東郷町中学校部活動地域移行検討委員会 会議録

会 議 名	令和7年度第2回東郷町中学校部活動地域移行検討委員会
日 時	令和7年10月10日（金）午後2時00分から3時30分まで
場 所	役場3階 政策審議会室
出 席 者	酒井 保幸、野々山 茂、浅井 丈史、長谷川 光巨、近藤 高也、 高木 一彦、津田 ひとみ、上村 直樹、澤田 佳奈、山本 翔太、 宮崎 滉太、市川 和彦、福島 智子、大原 貴浩、加藤 丈晴、大竹 邦一、 松尾 一成（敬称略）
欠 席 者	眞鍋 茂生、山田 剛（敬称略）
事 務 局	教育委員会 樋口総合調整監 生涯学習課 中川課長、水野課長補佐、竹内係長、野々山主査 学校教育課 北原主査
次 第	1 あいさつ 2 議題 （1）これまでの検討結果まとめ （2）アンケート調査の結果について（種目の選定） （3）地域クラブ活動における教員の兼職兼業に関する方針 （4）中学校部活動の地域展開の方向性について （5）国の動向について （6）スケジュール 3 その他
配布資料	・ 令和7年度第2回東郷町中学校部活動地域展開検討委員会次第 ・ 東郷町中学校部活動地域展開検討委員会名簿 ・ 東郷町中学校部活動地域展開検討委員会設置要綱 ・ 資料 令和7年度第2回中学校部活動地域展開検討委員会 （関係資料1） 部活動地域展開に係るアンケート結果について （関係資料2） 部活動の地域移行・地域連携における兼職・兼業等に係るFAQ （関係資料3） 公立学校の教師等が地域クラブ活動に参加する場合の兼職兼業について
傍 聴 者	なし

発 言 者	内 容
事 務 局	只今から、令和7年度 第2回東郷町中学校部活動地域展開検討委員会を開催させていただきます。 次第1、あいさつといたしまして、委員長よりごあいさつ申し上げます。
委 員 長	委員長あいさつ
事 務 局	ありがとうございました。 次第の2、「議題」に入りたいと思います。 ここからは、酒井委員長に議事進行をお願いいたします。
委 員 長	それでは、次第に沿って議事を進めてまいります。 議事進行につきまして、議題の順番の変更をお願いいたします。 まず、次第にあります議題(1)、次に議題(3)、次に議題(4)、そして議題(2)、次に議題(5)、議題(6)の順に進行していきますのでご協力をお願いします。 それでは、まず議題(1)「これまでの検討結果まとめ」について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	議題(1)「これまでの検討結果まとめ」について説明
委 員 長	ただいま、事務局から議題(1)について説明がありました。 今回資料にあります9つの方向性について3番と9番は後の議題で再検討ということですので、それ以外の項目についてご確認いただき、何か、ご質問・ご意見等がありましたら、お願いします。
委 員	7番に記載のある「統括コーディネーターを含め最大3人を上限」とは、どのクラブにも一人ずつ統括コーディネーターがいるという前提で良いか。
事 務 局	統括コーディネーターは各学校に一人配置することを予定している。指導員は原則二人体制であり、統括コーディネーターは何かイレギュラーなケースなどに対応することを想定している。 参加人数が多く、指導員が二人で足りないことが初めから分かっていたら、統括コーディネーターではなく、指導員三人体制とすることを想定している。
委 員	各種目に統括コーディネーターがいるということか。複数の種目で、コーディネーターが必要な場合は対応できなくなるのでは。
事 務 局	統括コーディネーターは各学校に一人になります。複数の種目で同時に対応できないケースはあり得る。
委 員	文言が足らず、誤解を生じる可能性があるため、書き方を見直した方が良い。
委 員 長	他にございませんか。 文言の件は見直すこととしまして、その他特にないようですので、ご確認いただけたということで次に進みます。 それでは、議題(2)をとばしまして議題(3)「地域クラブ活動における教員の兼職兼業に関する方針」そして、議題(4)「中学校部活動の地域展開の方向性について」を合わせてご議論いただきたいと思います。事務局より説明をお願いします。
事 務 局	議題(3)「地域クラブ活動における教員の兼職兼業に関する方針」、議題(4)「中学校部活動の地域展開の方向性について」説明

発 言 者	内 容
委 員 長	ただいま、事務局から議題(3)・議題(4)について説明がありました。 このことについては、議題(1)のこれまでの検討結果まとめの３番９番に関係してくるところですが、何かご質問・ご意見等がありましたら、お願いします。
委 員	大会の運営がどうなるのか気になるところ。 兼職兼業を希望する教員が少なければその分負担も大きくなってしまうのかな。現状種目によっては、地域クラブの指導員が審判をやる種目もあれば、そうでないこともある。運営に関して支障が出ないようにお願いしたい。
委 員	案１が良いかなと思う。 大会の運営が不安である。確実に引き継ぎができるのかな。地域クラブで大会運営できる保証があるうえで進めてほしい。また、生徒指導の面でも懸念がある。指導員の質の確保と大会運営に関しての引き継ぎを確実にお願いしたい。
委 員	案１賛成です。案２では、現状とあまり変わりはない。 審判の問題はやはりある。現状でもすべての顧問が審判に当たっているわけではない。顧問の中でも一部の教員が審判として行っているところである。兼職兼業でどれだけの教員が関与されるかわからないが不足する部分は事業者をお願いすることになる。
委 員	学校から意見を聞き取りして、案１が良いのかなと思う。今回これまでと大きく違う点として兼職兼業として教員が関与できること。これは、技術指導だけにとどまらず大きなメリットがあると思う。教員・地域・業者それぞれの人材がコミュニケーションをとり一体となって取り組む必要がある。
委 員	皆さん指導員の人材に一定の不安があるという意見ですが、自分も案１が良い。 先日、春日井市の教員とお会った時に、中学校の部活動の指導をしているとのことであった。しかし、その方は小学校の教員であった。春日井市では、小学校の教員が中学校の部活動を指導している例がたくさんある。小学校の先生でも部活動指導に関わりたい先生は少なからずいると感じた。
委 員	議論が教員寄りになってきているが、私も案１は賛成である。 これは、部活動に関わりたい人は兼職兼業で救われ、苦手とする人も土日の活動がなくなることで救われる。何よりも子供たちが活動できる環境があることが大事。
委 員	子供たちの観点は同じ意見である。 教員にとっても家庭のことなど都合があるときでも無理して参加している場合もある。環境が改善されることはいいことであると思う。
委 員	外部指導員の立場から、子どもたちが変わるためには先生方の力は非常に大きい。私たちは週１回指導に来て画一的に声掛けなど行いますが、子どもたちの普段の生活などはよく分かっていない。先生たちが兼職兼業で参加し子供たちにあいさつなどの指導をすることは大きなこと。過去に地域クラブで大会参加しているチームを見てみますとあいさつもできない、指導員も試合が終わったらすぐ現場を離れてしまう。子供たちは親が見ているといった状況がある。トラブルの対応など生徒の普段を知っている先生たちの力は非常に大きい。
委 員	同じく先生の力は大きいと思う。 大会における規律なども考えると外部指導員のみに頼るのではなく先生の力も必要

発 言 者	内 容
	である。
委 員	出場資格が気になる。地域クラブ加入者のみとあるが、土日に塾などで地域クラブには入れない。でも、平日は部活を頑張っている子は参加資格がないことになる。 月 2,000 円～3,000 円、年間 36,000 円払わなければ参加資格がないとなると強制感がある。 生徒によっては、土日は出たくないけど大会には出たい。 平日部活を頑張っても大会には出られないなど、加入しないと大会に出られない制限を設けることに違和感がある。
事 務 局	平日の学校主体の部活動と、休日の地域クラブは実施主体が違う。地域クラブで大会参加することになると地域クラブに加入する必要が発生する。
委 員	これまでは大会参加するのにお金は払う必要はなかったが、これからは月 3,000 円として年間 36,000 円払う必要があるということか。 大会出場のために参加費として 1 回 5,000 円かかりますというならまだ理解できる。大会参加するならお金払ってね。払わない子は大会出られないよとなると、平日部活動の目標もないし保護者としては違和感がある。 教員の負担軽減の観点では案 1 で良いと思うが、出場資格の部分だけは保護者からの納得は得られないのでは。
委 員	今の意見は納得できる。確かに大会参加するのに年間 36,000 円かかるようになったら、地域クラブに入らなくてもいいと保護者目線ではそうになってしまうかもしれない。 教員の負担軽減のためには案 1 で良いとは思うものの、保護者負担が増えすぎてしまうのはいかがなものかと思う。保護者負担が原因で参加者が減ってしまえば事業自体が成り立たない可能性もあり得るため、課題であると感じる。
事 務 局	今の議論は事務局内でも話し合ってきたところ。案 1 にした理由は総合的に判断した結果である。案 2 では、大会当日の運営負担が教員に残る。そもそも、学校長は勤務時間外における部活動参加を教員に命じることはできず、全国的にも教員の働き方に関しては問題になっている背景がある。案 2 は、地域展開が本格化するまでの移行期間に限りて教員の協力を一定程度お願いできないかという趣旨が含まれている。コスト面や保護者・生徒の安心感といったメリットがある一方で、勤務時間外での継続的な負担は教員のモチベーション低下につながる懸念もある。といった議論を重ねた結果、案 1 を提案させていただいている。
委 員	地域クラブの考え方として、平日に文化系の部活動に参加し、休日にスポーツをする。その逆もあり。違う種目にも参加できる。こういったいろいろな価値を生徒に提供できる、新たな成長の機会を創出するといったことで良いか。今、議論が教員の負担軽減と大会参加が中心になっているが、東郷町はいろいろな体験を子どもたちにさせてあげたいということを忘れてはいけない。
委 員	教えてもらうのにタダっていうのが皆さん慣れすぎてしまっている。学校の先生が部活動を行っている時間にもお金はかかっている。教えることにお金がかかることをアピールする必要がある。対価が発生することを理解させていかないと、保護者から費用負担に関しての話は尽きないと思う。サービスを受けるのに対価が発生するのは当たり前

発 言 者	内 容
	の話であり、もっとアピールしても良いのかなとも思う。
委 員	例えば週 5 日サッカーやっていて、休日週 1 日バドミントンをやった場合、大会参加はバドミントンで出ることになる。違う種目を選択する可能性はほとんどないと思う。
委 員	これまでの部活動の概念が残っているからそう考えてしまうと思うが、これからは部活動と地域クラブを切り離して考えていただくと良いと思う。諸輪中学校は部活動も少なく存在する部活しか入れない。でも、休日は本人が希望する種目に入れる。大会参加は休日の地域クラブが参加する。平日部活動は力量向上であったり楽しんだり。同じ種目を継続する子もいればそうでない子もいるかもしれない。今までの部活動から考え方を切り替えていかないといけないのかなと思う。休日の習い事という観点から受益者負担金は発生する。それが月 3,000 円であれば安いのかなとも思う。
委 員	これまで学校部活動主体で夏の大会に参加することは周知されている。 お金に関してはこれまで月 2,000 円程度の負担であったのが 1,000 円高くなっている。これは教員が兼職兼業で加わることで、大会参加を地域クラブで行うことによるものという理解をしている。
委 員	今後の周知について、保護者・生徒にとっては大きなところである。土日の地域クラブにお金が発生するのは理解できると思うが大会参加のために地域クラブに加入しなければいけない、お金が発生するということは、しっかり周知していかないといけない。
委 員	単に部活が有料化になったと捉えられないように、しっかり周知していく必要がある。お金はかかるが大会参加の道は残してあげたい。かつ、教員の負担も軽減していくところでの案であると思う。有料化という内容にならないように、多様な機会の提供、新しい種目の選定など、いずれはどこかで地域団体など民間に委ねていくためには有料化はしていかなければいけない。
委 員	先生方のお話の中で、不得意な種目に携わっている先生の話、小学校の先生が中学校部活動に携わっている話を聞いて、そういう仕組みが東郷町でもできれば良いと思った
委 員	本校にはバスケ部もサッカー部もない。平日は卓球部やバレー部に所属していて休日は地域クラブで活動できるとなるとその子たちにとってはメリットになる。そういう子が何人かいるのが現状。
委 員 長	いろいろご意見をいただきましたが、案 1 で概ね賛成いただいたように感じましたが、大会の運営の問題等の心配事が意見として出てまいりました。 他に、ご意見はございませんか。 議題(3)・議題(4)案 1 についてご承認いただけますでしょうか。 異議がないようでしたら、挙手をお願いします。 〈挙手全員〉 ありがとうございます。 挙手全員ということで、本案は原案通り承認されたことを確認します。 それでは、続きまして、議題(2)「アンケート調査の結果について（種目の選定）」について事務局より説明をお願いします。
事 務 局	議題(2)「アンケート調査の結果について（種目の選定）」について説明

発 言 者	内 容
委 員 長	ただいま、事務局から議題(2)について説明がありました。 このことについて、何か、ご質問・ご意見等がありましたら、お願いします。
委 員	人数によっては拠点校を一つにまとめるということで良いか。
事 務 局	はい。
委 員	今後、参加の人数を聞いたうえで絞っていくことになると思うが、絞るのであれば、部活動としてない種目や美術などのコンテストとなるような種目が良いのでは。種目によってはこれまで単独校で参加していたところに影響が出てくると思うので、写真、美術、ダンスあたりの影響が少ないのではないかな。
委 員	アンケート結果であるが、小学生 5、6 年生がどのクラブに入るのか現時点で決めているはずがない。入学して体験して決めていくことを考えると今のアンケート結果で決めていくことは問題があるのかなと思う。種目によっては男女一緒にして同じ学校で行うことが合理的ではないかと思う。
委 員	実際に運営していく段階では、まとめ方に工夫がいるのかなと思う。
委 員	あんまり減らしてしまうと趣旨と合わない。難しい。
委 員	本校の現状では美術部の休日の活動は行っていないのが現状。他校の状況はわかりませんが、休日がないから選んでいる可能性もあるのかな。
委 員	学校教育課としては、3 年間は学校部活動から地域クラブへの移行期間ということで、種目としては可能な範囲で部活の方を優先して残してあげたいと思う。 一方、部活の有料化とならないためにも新たな種目を入れることで保護者の理解も得られるのでは。
委 員	20 番の写真部は高校生みたいだな。 どんな活動になるんだろう。個人的には 19 番までの種目で良いのではと思う。
委 員	写真部は保護者がカメラを購入したものを学校に持っていく、高価なものであるため保護者目線では少し怖いところがある。やりたい子がいるのであればやらせてあげたいし、なかなか難しい。
委 員	地域クラブは習い事というお話もあった。写真を習いたいのであれば習ったらいいい。絞るのは難しいです。
委 員 長	原案としては 20 種目で、財政事情によっては種目が削られる可能性もあるが、その場合、今日のご意見を勘案していくということでご了承いただけますか 〈拍手〉 拍手多数で了承されたということで次に進みたいと思います。 それでは、続きまして、議題(5)「国の動向について」事務局より説明をお願いします。
事 務 局	議題(5)「国の動向について」について説明
委 員 長	ただいま、事務局から議題(5)について説明がありました。 このことについて、何か、ご質問・ご意見等がありましたら、お願いします。
委 員	実行会議最終とりまとめの中に「寄附等の活用、民間企業との連携等」とありますが、東郷町は取り組む予定はありますか。
事 務 局	現時点で検討していることはないが、今後、詳細を確認しながら進めていく予定です。
委 員 長	他に、ご意見はございませんか。

発 言 者	内 容
	特にないようですので続きまして、議題(6)「スケジュール」について事務局より説明をお願いします。
事 務 局	議題(6)「スケジュール」について説明
委 員 長	ただいま、事務局から議題(6)について説明がありました。 このことについて、何か、ご質問・ご意見等がありましたら、お願いします。
委 員	今後のスケジュールの中に「保護者あて通知発出」とあるが、これまでもお願いしてきたことだが、会議が終わったら保護者あて通知を必ず出して欲しい。そこで、通知の記載内容について確認しておきたい。 一つは、アンケート結果。もう一つはアンケート結果の時にお知らせした内容からの変更点、対比表など分かりやすく記載があると良いと思いますのでぜひお願いしたい。
委 員	保護者説明会とありますが、春日井市が行っていた方法として、動画を保護者向け、生徒向け、教員向けと作成して展開していましたので参考までに。
委 員 長	他に、ご意見はございませんか。 それでは、これで本日の議題すべてが終了しましたので、進行を事務局にお渡しします。
事 務 局	はい。酒井委員長、スムーズな議事進行、ありがとうございました。 また、委員の皆様には、熱心な議論をしていただき、ありがとうございました。 次第の3「その他」について全体を通して何かございますか。
事 務 局	それでは、これをもちまして、令和7年度第2回東郷町中学校部活動地域展開検討委員会を終了いたします。 長時間にわたり、大変お疲れ様でした。 お帰りの際には、お気をつけてお帰りください。 ありがとうございました。